

超音波シンポジウム和文題目 (14~16ポイント)

English Title of USE Symposium (12~14ポイント)

1行空ける)

凸山一郎[†], 凹崎次郎, 音野三郎 (目医大 物質工) (12ポイント)

Ichiro Totsuyama, Jiro Ohsaki and Saburo Otono (Univ. Meidai, Inst. Mat. Sci.) (10~11ポイント)

1行空ける)

The Symposium on Ultrasonic Electronics (USE) is the most important annual meeting on ultrasonic technology in Japan and has the history of 27 years. The USE covers all the research fields of ultrasonics from basic theories to industrial applications. Since USE2004, the meeting has widely accepted English papers and presentations from all over the world, and one day of the three meeting days is open as the International Sessions. In USE2006, all poster sessions on three meeting days will be presented in English. Over 150 papers and 300 participants are expected including an invited talk by the distinguished lecture of IEEE UFFC. The dead line for submission of the two-page proceedings paper is August 25, 2006.

1. 題目、著者、Abstract、本文の書き方

1行目に用紙左端より60mmの空白をとって日本語タイトルを14~16ポイント (MSゴシック等ボールド)、2行目に同様に英文題目を12~14ポイント (Times等)、1行空けて4行目に和文著者名 (和文所属) を12ポイント、5行目に英文著者名 (英文所属) を10~11ポイントでお書き下さい。題目、著者名等は、できるだけ1行で収まるようにして下さい。やむをえない場合でも、40字以内をお願いします。

発表者は、和文著者名の後に†(デガ)を上ツキで、また発表者が奨励賞申請者の場合は†ではなく‡(ダブル・デガ)を記入して下さい。これらのマークは英文著者名には不要です。英文著者名は、できるだけフルネームをお願いします。所属は和文、英文とも、省略形式でお書き下さい。

英文の所属の下に1行空けて、120語程度の英文Abstractを10ポイント (Times等)でお書き下さい。

本文は、1~2行空けて10~11ポイントで、2段組にしてお書き下さい。1ページ40行程度が適当です。

ページ数は、講演1件につき2ページです。

2. 図、表の書き方

JJAPに投稿する図、表と同じまたはこれに近い書き方をして下さい。図、表の説明は英文でお書きください。また、図、表中の文字も和文を避け、英語で作成するようお願いします。図が小さくなると見難いので、大きくして下さい。本文中で図番号、表番号を引用するとき、最初に出てくる場合のみ Fig.1、Table I のようにボールドにして下さい。

脚注に電子メールアドレスを入れてください。

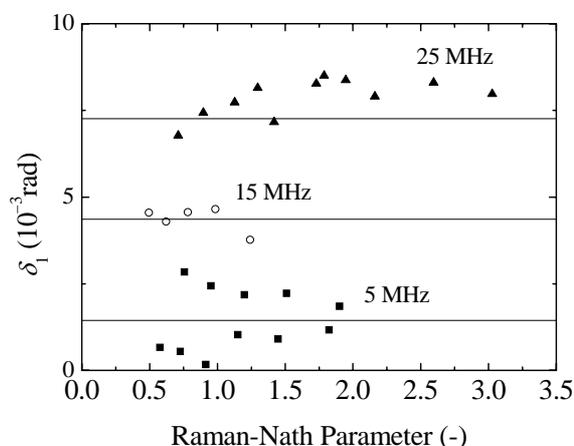


Fig. 1 Retardation of first order diffracted light vs. Raman-Nath Parameter

図、表の線や文字の濃さは本文の文字と同程度にしてください。

3. 引用文献の書き方

文献の書き方は、可能な限り JJAP で引用するときと同じ形式をお願いします。ただし、和文の文献を引用する場合は和名のままで結構です。

この研究に関連するこれまでの JJAP の USE 特集号の論文をできるだけ引用してください。この文献は JJAP への投稿の場合にも、更に充実する形で引き継いで下さい。

4. 用紙と余白

A4 用紙の設定をお使い下さい (レター紙は不可)。余白は、上下左右とも 20mm としてください (厳守)。ワードプロセッサの印刷設定と、実際の印刷結果が

異なる場合がありますので、PDF ファイルとした後に印刷して余白を確認して下さい。

はみ出した箇所は、論文集に印刷されません。また、原稿には枠を書かないでください。

5. 原稿の提出

原稿は PDF ファイル形式のみの受付となっています。ファイル名を u[受付番号].pdf (例えば受付番号 18 の場合は u18.pdf) とし、PDF ファイルに変換した上で、著者にメールでお知らせした URL から Up Load してください。

(以前のテンプレートのお知らせした URL は使用できません。)

その際、講演申込完了時に送付されました"受付番号", "ID", "パスワード"の入力が必要になります。

謝辞

本研究の一部は○×□財団の研究助成を受けて行われました。

引用文献

1. I. Tomonaga and R. Esaki : Jpn. J. Appl. Phys. **45** (2005) 271.
2. 日本太郎 : 超音波テクノ, **13** (2001) 741.
3. R. Esaki : Jpn. J. Appl. Phys. **46** (2006) 852.
4. 世界花子 : USE97 講演予稿集 (1997) 180.
5. S. Shirakawa, J. Esaki and I. Tomonaga : Jpn. J. Appl. Phys. **46** (2006) 1358.